

兄妹で受診し症状に波があった小児アトピーの経過 (3歳女兒・1歳男児)

症例 ID：001-03-GM | 記録日：2014年11月5日

1. 診断・治療前経過

娘は乳児期に湿疹があり、小児科で知らないうちにステロイドが処方され、赤みが出ると再びステロイドが処方されていました。2歳を迎えた頃、アトピーとなり、皮膚科で抗アレルギー薬や乳酸菌などを処方されましたが、良くなる傾向はみられませんでした。

約4か月間、病院を変えながら治療を探していました。インターネットで松本医院を知り、娘と息子を連れて受診されました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	娘は来院前に小児科でステロイドを処方され、赤みが出るたびに処方されていました。受診前には使用を中止していました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	乳児期から2歳頃まで断続的な処方歴があります。
中止時期	松本医院受診前から使用していませんでした。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後の使用は不明です。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期～2歳頃	来院前	乳児湿疹や赤みに対してステロイド、抗アレルギー薬、乳酸菌などが処方されました。
来院前4か月	来院前	病院を変えながら治療を探していましたが、良くなる傾向はありませんでした。
受診時	治療開始	娘と息子を連れて松本医院を受診し、漢方、黄色い軟膏、紫雲膏、エテルタシンなどで治療を始めました。
1か月頃	リバウンド期	アトピー症状が悪化しました。前に使用していたステロイドによるリバウンドと考えながら経過をみました。
経過中	症状の波	良くなったり悪化したりを繰り返しました。エテルタシンを塗らなくてよくなり、黄色い軟膏を塗る場所が減り、紫雲膏だけの部分も出てきました。
その後	経過後	悪化することはあっても程度は軽くなっているように感じられました。

4. ピーク時期

ピークは、受診後1か月頃にアトピー症状が悪化した時期です。来院前にも、2歳頃から4か月間、治療を変えても良くなる傾向がなく、家族が悩んでいた時期がありました。

5. 困りごと

- ・乳児期からステロイドや抗アレルギー薬などが処方され、治療方針に悩んでいました。
- ・良くなったり悪化したりを繰り返すため、いつ治るのかという不安がありました。
- ・子どもの病気や風邪、中耳炎などについても判断に迷う場面がありました。

6. 経過のまとめ

受診後1か月頃に一時的な悪化があり、その後も良くなったり悪化したりを繰り返しました。

経過の中で、エテルタシンを塗らなくてよくなり、黄色い軟膏を塗る場所が減り、紫雲膏だけで対応できる部分も出てきました。悪化することがあっても、程度は軽くなってきているように感じられる状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。